

平成30年度北海道自給飼料改善協議会セミナー 開催要領

1 **テーマ** 酪農経営と草地管理並びに気候の変化について

2 **趣旨**

北海道の酪農畜産は、広大な自給飼料基盤を背景に発展してきましたが、耕作放棄地の増加をはじめ、雑草の侵入、マメ科牧草率の低下などによる、収量の減少などの課題も顕在化してきております。

安定した酪農畜産経営を確立するためには、自給飼料の向上・改善に取り組むことが重要なことから、平成24年10月に道内の関係機関団体で「北海道自給飼料改善協議会」を設立して取組を行っています。

この協議会の取組として、喫緊の課題となっている植生改善を推進するため、酪農経営と草地管理並びに北海道における気候の変化をテーマにセミナーを開催します。

3 **主催** 北海道自給飼料改善協議会

(構成団体)北海道、北海道農業協同組合中央会、ホクレン農業協同組合連合会
公益財団法人北海道農業公社、雪印種苗株式会社、
一般社団法人北海道酪農畜産協会

4 **開催月日** 平成31年2月21日(木) 13:30~17:00

5 **開催場所** ANAクラウンプラザホテル札幌 3階 「鳳」
札幌市中央区北3条西1丁目

6 **タイムテーブル**

13:30 開 会

主催者挨拶 北海道農政部
来賓挨拶 農林水産省(予定)

13:40~16:55

■講演

「自給飼料生産が牛乳生産コストに及ぼす影響」(仮題) (13:40~14:15)
道総研 酪農試験場 地域技術グループ 研究主任 濱村 寿史 氏

「植生改善と酪農経営」(仮題) (14:20~14:55)
雪印メグミルク株式会社 酪農総合研究所 酒谷 周平 氏

----- 休 憩 -----

「北海道における気候の変化」(仮題) (15:05~15:40)
札幌管区气象台 気象防災部 地球温暖化情報官 服部 博和 氏

■話題

「30年度補正予算及び31年度予算について」(仮題) (15:45~16:05)
農林水産省(予定)

■ディスカッション

参加者：講演者、話題提供者、助言者、座長

(16:10~16:55)

17:00 閉 会

7 **参集範囲** 生産者、JA、市町村、普及センター、関係機関団体等 200名程度

8 **参加料** 無料

9 **参加申込み** 別紙申込書を事務局に2月15日(金)までにお送りください。

別 紙

平成 30 年度北海道自給飼料改善協議会セミナー 参加申込書

北海道自給飼料改善協議会事務局 あて
(FAX : 011-209-8560)

(申込者)

所 属 : _____

部 署 : _____

氏 名 : _____

電話番号 : _____

平成 31 年 2 月 21 日 (木) 開催の平成 30 年度北海道自給飼料改善協議会
セミナーについて、参加を申し込みます。

市町村	所 属	職 名	氏 名

※ 2 月 15 日 (金) までに FAX にてお送りください。

送付先 : 北海道自給飼料改善協議会 事務局
(北海道酪農畜産協会 事業推進部)

FAX : 011-209-8560

TEL : 011-209-8553

参加無料

～北海道自給飼料改善協議会セミナー～

『酪農経営と草地管理 並びに気候の変化について』

講演

「自給飼料生産が牛乳生産コストに及ぼす影響」(仮題)

道総研 酪農試験場 地域技術グループ 研究主任 濱村 寿史 氏

「植生改善と酪農経営」(仮題)

雪印メグミルク株式会社 酪農総合研究所 酒谷 周平 氏

「北海道における気候の変化」(仮題)

札幌管区气象台 気象防災部 地球温暖化情報官 服部 博和 氏

話題

「30年度補正予算及び31年度予算について」(仮題)

農林水産省(予定)

- ・ **と き**：平成31年2月21日(木) 13:30～17:00
- ・ **と ころ**：ANAクラウンプラザホテル札幌3F「鳳」
- ・ **主 催**：北海道自給飼料改善協議会

＜構成＞ 北海道、北海道農業協同組合中央会、ホクレン農業協同組合連合会、
公益財団法人北海道農業公社、雪印種苗株式会社、
一般社団法人北海道酪農畜産協会(事務局)

参加申込みにつきましては、所定の用紙により2月15日(金)までに北海道酪農畜産協会までFAXで申込願います。(FAX 011-209-8560)

※講演等の内容や講師につきましては、変更となる場合があります。